



# 藤田 まこと

No. 29

議会だより

二〇一七年二月

発行者 藤田 まこと  
 事務所 青森市中央1丁目22-5  
 青森市議会  
 社民党控室  
 TEL:017-734-5692  
 FAX:017-722-8902  
 印刷所 スタジオとまと  
 TEL/FAX:017-761-2770



地域の皆さま、新年明けましておめでとうございます。どうぞございます。

青森市議会議員に初当選以来早や七年

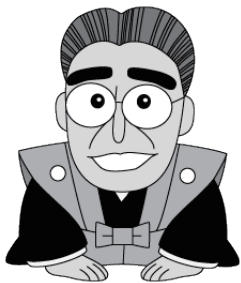
が過ぎました。この間、多くの皆さまに支えられ議員活動することができました。ご支援とご協力に感謝申し上げます。

青森市政に関わる課題は尽きることなく、定例会の報告を主とした「議会だより」の発行も二九回目を迎えました。市民の皆様のご希望に添えない事も多々ありましたが、市民の皆さまが快適な生活環境で「安心・安全」を感じられるように、今後とも活動してまいります。そのためにも、日頃から皆さまがお考えの地域課題やご意見を賜れば幸いです。

今後とも市民の皆さまに愛されるよう、小さな事を積み重ね活動してまいりますので、引き続きお指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。年頭に当たっての挨拶とします。

青森市議会議員

藤田 まこと



## 平成29年 第4回青森市議会定例会・閉会

### 主な補正予算

#### ○まちづくり寄附制度推進事業

2225万5千円  
 元気都市あおもり応援基金への寄附金の積み立て経費

#### ○扶助費関連 1億5188万5千円

障害者支援及び子育て支援関連事業の利用者増加に伴う経費、決算見込の調整

#### ○市民体育館非常用電気設備等改修事業

9544万円  
 機械室浸水に伴う補修及びメイン・アリーナ床の改修工事に要する経費

#### ○燃料費関連 6659万5千円

重油や灯油などの燃料費単価の上昇に伴う、決算見込の調整

#### □繰越明許費の設定 2件

●民間建築物耐震診断・普及啓発事業  
 繰越限度額 1億5410万円

●市民体育館非常用電気設備等改修事業  
 繰越限度額 9544万円

#### △債務負担行為の設定 47件

●工事施工時期の平準化を図るもの  
 限度額 2億5100万円

一般会計分 5件  
 (道路整備、流雪溝整備、橋梁長寿命化)

●青森産業展示館ほか指定管理施設運営管理委託業務 26件

平成30年度から平成34年度まで  
 限度額 運営管理に要する経費

### アウガへ市民サービス窓口が移転

アウガ内に市民総合窓口が作られ、各種手続きがアウガで出来るようになりました。(年末年始を除く、土日祝祭日開いています。)

柳川情報コーナーはこれまで通り (017-761-4546)

# 一般質問



## 1. 青森市新総合計画について

**要旨** 新市長は、当面青森市総合計画は現時点で時間をかけて新たな計画の策定や見直しをする必要はないと判断していますが、新青森市総合計画を策定する際に、公的な性格を持つ諸団体（町会・地域包括支援センター・青森市社会福祉協議会等）や小中学校の学区等が、同じ区域になれば活動しやすくなると思ひ質問しました。

**質問** 地域包括支援センターの担当圏域と町会の区域を合わせる考えはないのか。

**答弁** 一部不整合な区域はあるものの、概ね町会の区域との整合は図られている。

## 2. タウンミーティングについて

**要旨** これまで、公募による選出された人が市長と対話できる市民100人委員会や、誰でも出席して直接市長に意見ができる市民なんでもトークが開催されてきたが、小野寺新市長が町会等の組織を対象とした新たな対話集会をどのように評価し、今後どうするのか質問しました。

**質問** あおもりタウンミーティングの市としての評価と、今後開催方法等の見直しについて。

**答弁** 市では、今年度から、市民ニーズや地域の課題を把握し、市政運営の参考にするともに、地域の個性を活かしたまちづくりを推進するた

め、市長と関係部長が地域にお伺いし、地域の声を直接お聴きする「あおもりタウンミーティング」を開催しています。

これまで、青森地区の37地区連合町会、5地域協議会及び浪岡町内会連合会を対象とし、35回の開催を終えました。

市の評価としては、テーマは対象団体の意向に沿った形で設定しているため、町会長や役員の方々が、日頃の活動の中で、住民の方からの相談などを通じて把握した、地域の意見や課題が集約された形で議論が行われています。

当初、意図したとおり、町会長や役員の方々が、地域の声を集約するなどとして、市に届けることを担っていただき、本市の長所である町会のネットワークを通じて、市民ニーズや地域の課題について、実のある意見交換ができていますと承知しています。

また、把握した各地域のニーズ等に対し、これまで、できるものは早急に対応してきているほか、新たに予算対応が必要なものや、検討に時間を要するものなどについては、今後しっかりと検討を進めていくことで、地域の個性を活かしたまちづくりに繋がっていくものと考えています。

このように、事業趣旨・目的に合致した成果が現在までのところ得られているものと考えていることから、今後も、引き続き、現在の開催方法により実施して参りたい。

## 3. 予算編成方針について

**要旨** 昨年度は、アウガの特別清算のため、職員の給与削減、テナントの退去要請、市の債権放棄等の混乱があったため、来年度の平成30年度予算編成方針はどうするのか質問しました。

**質問** ①平成30年度予算編成の方針の基本的な考え方について

**答弁** 小野寺市長が掲げる「あおもり、再生」のため、「しごと創り」、「ひと創り」、「まち創り」、「やさしい街」、「つよい街」、「かがやく街」の6つの政策に沿った「挑戦を誇れる街」の創造に向け、より効果的な事業への予算の重点化を図るため、次の基本方針を掲げる。

- 基本方針
  - ① 市民生活に密着する道路、市営住宅及び公園関係等の修繕の一部については昨年度と同額を確保するなど、メリハリをつけた上でのマインスシーリングによる予算要求枠の設定
  - ② 財源調整のための基金取崩しの抑制
  - ③ 将来的な財政硬直化を防ぐための市債発行額の抑制
  - 個別の編成方針
    - 歳入予算…積極的な特定財源の確保に努め、企業広告やネーミングライツなどの導入を図り、新たな自主財源の確保に努める
    - 歳出予算…既存事業については事業目的や成果目標に照らしながらゼロベースで検証し、新規・拡充事業は必要性や事業効果等を十分に検討するなど、事業のスクラップ・アンド・ビルドの徹底を図る事など、今後の持続可能な財政運営を意識した予算編成を行う。

## 4. 小・中学校の給食について

**要旨** 平成8年7月、堺市において学校給食が原因で腸管出血性大腸菌O157による集団食中毒により、児童の死亡事故が発生、今年も「ノロウイルス」による食中毒の危険な時期を迎え、青森市のように給食一括調理方式では被害が大きくなるリスクが高くなることから、この議会の場を通して、子どもの安心・安全に対する姿勢を常に持ち続けるため、持つて貰うため、学校給食での食中毒対策意識の高揚や、給食調理後2時間過ぎれば、各種菌が繁殖を始める「2時間ルール」前に食すれば、より安全であることから質問しました。

**質問** 小・中学校給食センターにおける配送体制と学校までの配送時間について

**答弁** 車両台数、人員、時間については下表のとおりです。衛生管理については、小・中学校給食センターでは、学校給食衛生管理基準を遵守し、高性能の断熱二重食缶を取り入れ、温度管理に細心の注意を払い、配送時間の長短にかかわらず、安全・安心な学校給食の提供に努めている。

	車台数	配送員	予備	最長校	配送時間
小学校(32校)	17台	17人	2台	東陽・後潟小学校	50分程
中学校(18校)	15台	15人	4人	戸山中学校	50分程

☆ご意見・ご要望をお待ちしています☆

社民党控室 藤田 まこと

TEL:017-734-5692 FAX:017-722-8902